

■まきあみぎよぎょう せんもんきゅう がっかしけんもんだい こうひょう
よう

1. () ひがしにほんでは おもに いわしや さばを とる。
2. () にしにほんでは おもに さけを とる。
3. () さばの からだには ぜいごと よばれる かたい うろこが ついて
いる。
4. () いわしの からだには はなれびれが ついている。
5. () まきあみぎよぎょうは ちばけん から ほっかいどう までの たい
へいようがわで しか おこなわれていない。
6. () にしにほんの まきあみぎよぎょうでは よるに しゅうぎょとうを
つかって そうぎょうする。
7. () まきあみぎよぎょうは あみぶね(ほんせん)、 ひぶね(たんさくふね)、
うんぱんせんが せんだんとなり そうぎょうする。
8. () うんぱんせんには ぎょぐんたんちきは ついていない。
9. () しゅっこうするとき あみぶねには みずや たべものは つみこまな
い。
10. () あみを ふねに つみこむときは、 ぎょじょうで すぐに あみいれ
が できるように きちんと たたむ。
11. () うんぱんせんには さかなの せんどを たもつ ために つかう こ
まかく くだいた こおりを つみこむ。
12. () しゅっこうしたら あみぶね(ほんせん) だけが ぎょぐんたんちき
で さかなの むれを さがす。
13. () ひがしにほんの まきあみぎよぎょうでは、 さかなの むれを みつ

けたら しゅうぎょとうを つけて さかなを あつめる。

14. () にしにほんの まきあみ ぎょぎょうでは、 ひぶねに あみの はしを わたし、あみぶねが はしりながら あみを 入れていく。
15. () ぎょぐんを あみで かこんだら、 あみの したにある わいやーを ねっとほーらーで まいて あみの そこを しめる。
16. () あみを しぼったら、 ひぶねの ぎょそうに さかなを 入れて みなどまで はこぶ。
17. () さいどろーらーとは、 ふねの よこに ついている あみを ひきあげるときに つかう ろーらー である。
18. () かんと ちんしづなを むすぶ ろーぷを かんづな とよぶ。